

20代・30代の男女500人に聞く、「ゴールデンウィークの過ごし方調査」

今年のゴールデンウィークは最大9連休！

今年のゴールデンウィークは“イエ充”な休日

～ 強まるイエナカ志向 “イエ充”はテレビ視聴環境と密接な関係に ～
震災後、国内外の旅行予約が回復基調な中、20～30代を中心に“イエ充”が定着化

スカパーJSAT株式会社(東京都港区、代表取締役 執行役員社長 高田真治)は、20代・30代の男女500名を対象に、「ゴールデンウィークの過ごし方調査」を実施いたしました。

- [調査概要]
- ◆調査対象: 全国の20代・30代の男女500名(性年代別に各125名ずつ)
 - ◆調査期間: 2012年3月24日(土)～25日(日)
 - ◆調査方法: インターネット調査

普段の休日の過ごし方、「イエナカ派」が約8割。

20・30代の84%が「家にいる時間が好き」!

家の中の過ごし方、「テレビ」「インターネット」が2強。

平均時間はテレビ:3時間4分、インターネット:3時間6分。

今年のゴールデンウィークの過ごし方

「自宅」で「家族と一緒に」「のんびり過ごす」傾向

20代・30代の半数以上が海外ドラマを「面白いと思う」と回答。

印象に残っている海外ドラマは「24 - TWENTY FOUR -」が1位。

有料放送視聴者は“イエナカ充実度”が高い!

GWの予定も「自宅でテレビ」が7割を超える。

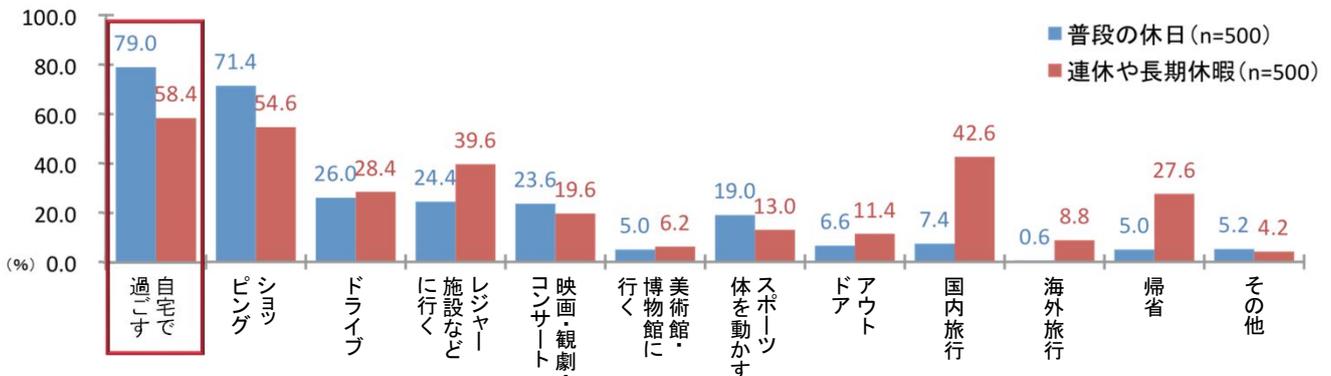


普段の休日の過ごし方、「イエナカ派」が約8割 20代・30代の84%が「家にいる時間が好き」！

普段の休日や連休などの長期休暇をどのように過ごすか聞いてみたところ、普段の休日も長期休暇も、「自宅で」（普段の休日79.0%、長期休暇58.4%）、「家族」（普段の休日65.4%、長期休暇71.0%）と一緒に過ごす、というのがいちばんポピュラーなパターンです[グラフ1][グラフ2]。また、休日はどのような時間かと聞くと、「のんびりくつろぐ時間」（普段の休日65.4%、長期休暇54.8%）がトップとなり[グラフ3]、休日は「自宅で家族とのんびりくつろぐ」というイエナカスタイルが定番となっています。

いまどきの20代・30代たちは、家にいる時間の満足度は100点満点で69.9点となり[図4-1]、8割以上が「家にいる時間が好き」(84.0%)と答え[グラフ4-2]、約6割が「家の中が充実している」(60.4%)と回答しています[グラフ4-3]。家にいることを好み、家で過ごす環境を充実させている、そんな“イエ充”な20代・30代が増えているのかもしれないね。

グラフ1) 普段の休日・長期休暇の過ごし方



グラフ2) 普段の休日・長期休暇を過ごす相手

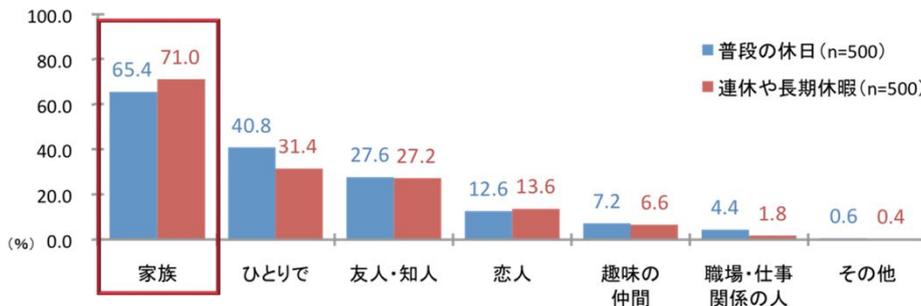
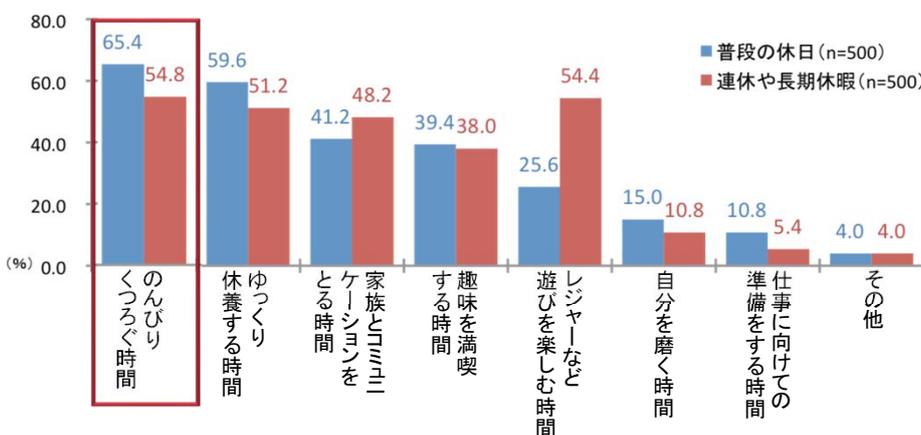


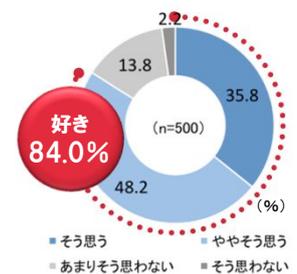
図4-1) 家にいる時間の満足度



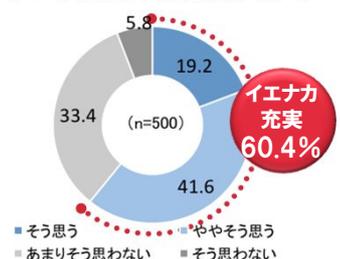
グラフ3) 普段の休日・長期休暇は何をする時間



グラフ4-2) 家にいるのが好き



グラフ4-3) 家の中が充実している



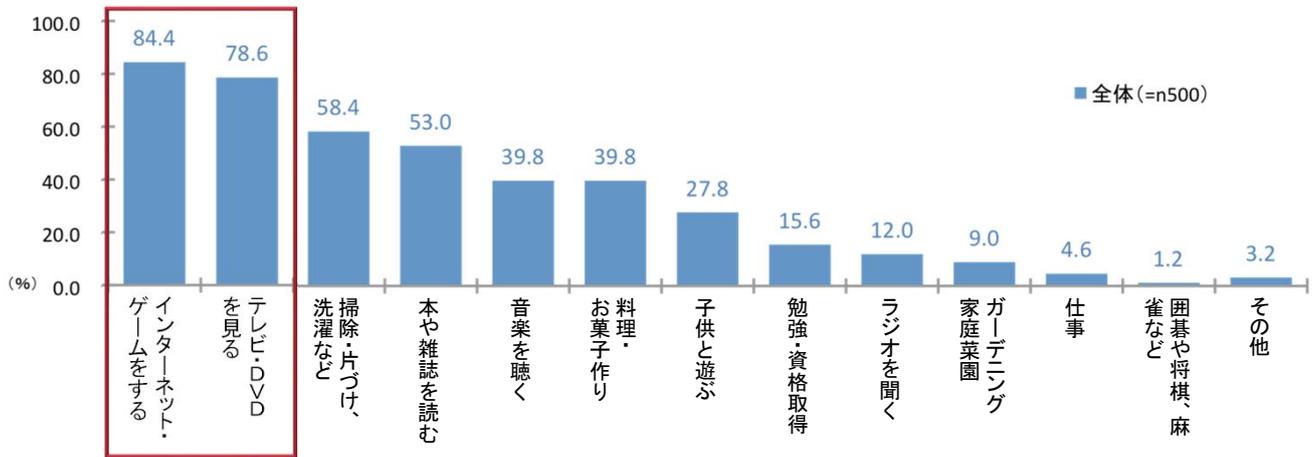


家の中の過ごし方、「テレビ」「インターネット」が2強 平均時間は、テレビ:3時間4分 インターネット:3時間6分

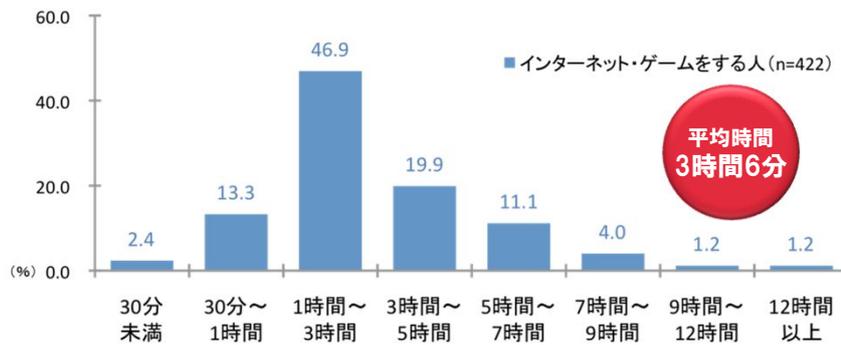
家にいることが大好きなイエナカ志向の“イエ充”な20代・30代たち。家の中ではどのように過ごしているのでしょうか。普段の休日、家の中で何をしているか聞いてみたところ、「インターネット・ゲームをする」(84.4%)と「テレビ・DVDを見る」(78.6%)がツートップとなりました[グラフ5]。

それぞれどれぐらいの時間かを聞くと、インターネット・ゲームをする時間は「1時間～3時間」(46.9%)が最も多く、平均すると3時間6分[グラフ6-1]。テレビやDVDを見る時間も「1時間～3時間」(49.6%)が最も多く、平均時間は3時間4分となりました[グラフ6-2]。

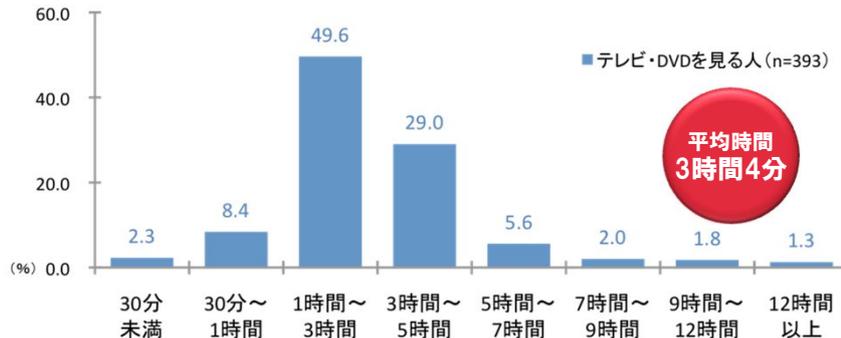
グラフ5)家の中でしていること



グラフ6-1)家の中でインターネット・ゲームをしている時間



グラフ6-2)家の中でテレビ・DVDを見ている時間





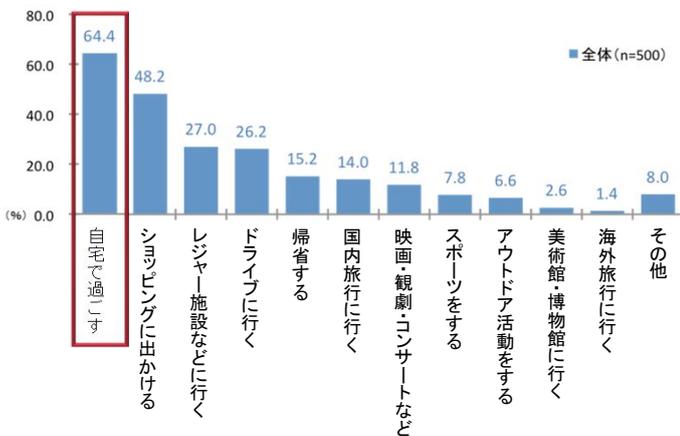
今年のゴールデンウィークの過ごし方

「自宅」で「家族と一緒に」「のんびり過ごす」傾向

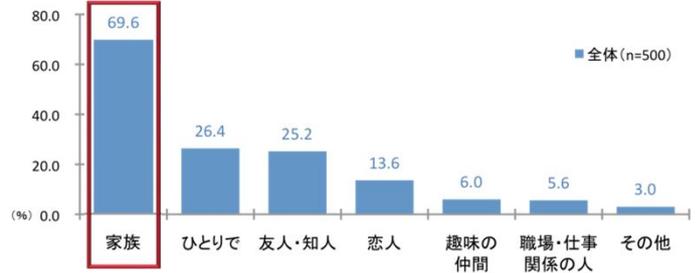
もうすぐゴールデンウィーク(G.W.)が始まりますが、イエナカ志向の20代・30代たちはG.W.をどのように過ごすのでしょうか。G.W.も普段の休日と同様に「自宅で」(64.4%)で、「家族」(69.6%)と一緒に「テレビ・DVDを見て」(70.4%)、「のんびりくつろぐ」(57.2%)イエナカスタイルが主流です[グラフ7][グラフ8][グラフ9][グラフ10]。

今年のG.W.の予定を聞くと、「外時間」(39.4%)よりも「家時間」(60.6%)の方が長く、「アクティブ」(30.6%)よりも「まったりと」(69.4%)過ごし、「混雑するなら出かけたくない」(70.4%)と思う人が多く[グラフ11]、約6割が「G.W.は自宅で過ごす予定」(56.6%)と答えています[グラフ12]。震災後、国内外の旅行予約が高水準を示す中、20代・30代たちのG.W.は「安・近・短」でも「高・遠・長」でもなく、無理して出かけることはせず、自宅でのんびり“イエ充”な休日をおくるようです。

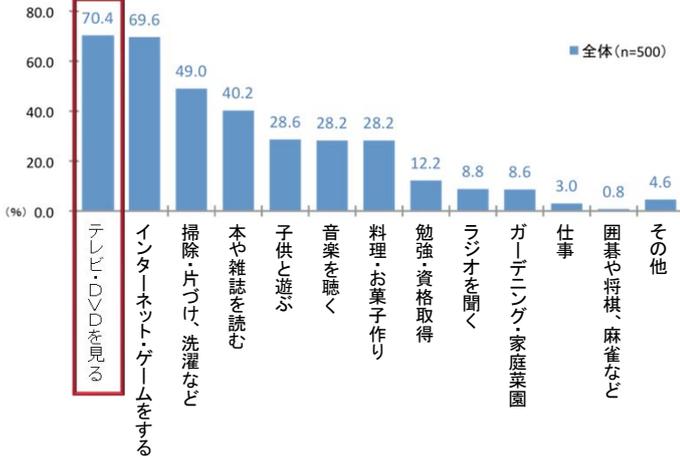
グラフ7)G.W.の予定



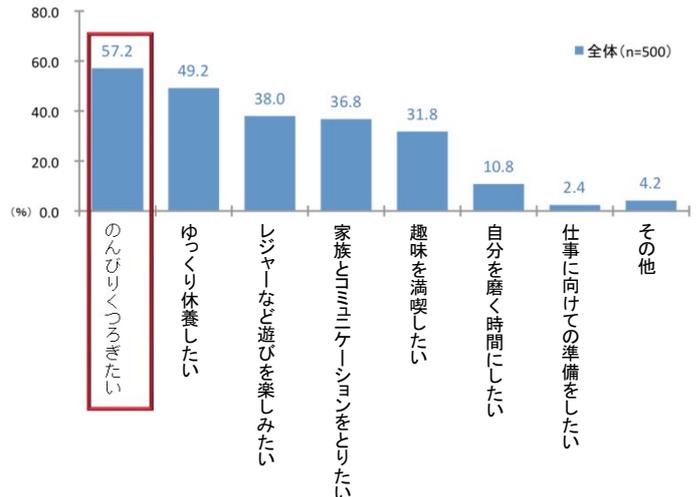
グラフ8)G.W.と一緒に過ごす相手



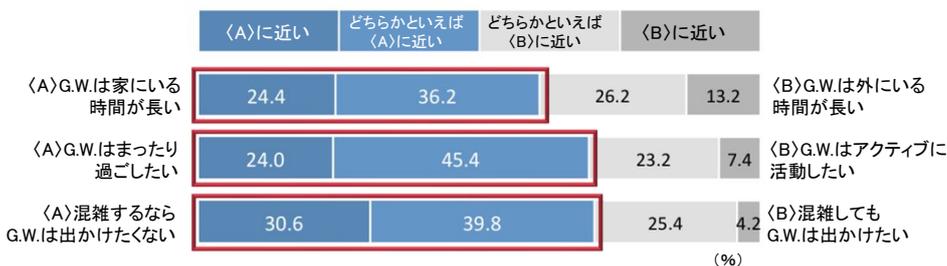
グラフ9)G.W. 家にいるときにする予定



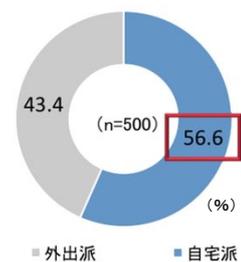
グラフ10)G.W.をどんな時間にしたいか



グラフ11)今年のG.W.の予定



グラフ12)G.W.を過ごす場所





20代・30代の半数以上が海外ドラマを「面白いと思う」と回答 印象に残っている海外ドラマ 1位は「24 -TWENTY FOUR-」

テレビやDVDを見てG.W.を過ごす予定の20代・30代たちに、どんなジャンルの番組が周囲で流行っているかを聞くと、1位「エンターテインメント・バラエティ番組」(30.4%)に続き、「国内ドラマ」(15.0%)や「アニメ・マンガ」(14.6%)を抑えて、「海外ドラマ」(24.6%)が2位に選ばれました [図13]。

図13)周囲で流行っていると思うテレビ番組のジャンル

1位	エンターテインメント・バラエティ番組	30.4
2位	海外ドラマ	24.6
3位	国内ドラマ	15.0
4位	アニメ・マンガ	14.6
5位	ドキュメンタリー・ニュース	7.8

(n=500) (%)

普段からテレビやDVDをよく見る“テレビ通”の彼らに、海外ドラマについて聞いてみます。

海外ドラマを「よく見ている」(29.6%)のは3割弱とそれほど多くはありませんが、約半数は「試しに見てみたい」(49.4%)と興味を持っています。

「海外ドラマはおもしろいと思う」(56.0%)、「日本のドラマにない魅力がある」(63.0%)といった意見も多く、「今度のG.W.にあの海外ドラマを見てみよう」と考えている人も少なくはないようです [グラフ14]。

これまでに見た海外ドラマで印象に残っている作品 [図15]と、これからも見たい作品 [図16]をあげてもったところ、いずれも第1位には「24」が選ばれました。「24」はテレビをよく見る彼らにとっても、1度だけでなく何度でも、繰り返し見たくなる印象的な作品のひとつとなっているようです。

グラフ14)海外ドラマについて



図15)印象に残った海外ドラマ

1位	24-TWENTY FOUR-	19.8
2位	CSI: 科学捜査班	7.9
3位	LOST	7.9
4位	ER 緊急救命室	7.7
5位	プリズンブレイク	6.9
6位	フルハウス	6.1
7位	ビバリーヒルズ青春白書	5.8
8位	冬のソナタ	5.0
9位	SEX and the CITY	5.0
10位	BONES	4.2

(n=379) (%)

図16)今後も見たい海外ドラマ

1位	24-TWENTY FOUR-	21.4
2位	SEX and the CITY	15.6
3位	プリズンブレイク	13.6
4位	ER 緊急救命室	10.6
5位	LOST	10.4
6位	CSI: 科学捜査班	9.6
7位	ビバリーヒルズ青春白書	8.0
8位	BONES	8.0
9位	HEROES	7.6
10位	デスパレートな妻たち	7.0

(n=500) (%)



有料放送視聴者は“イエナカ充実度”が高い！ G.W.の予定も「自宅でテレビ」が7割を超える

テレビやDVDを楽しみながら、イエナカライフの充実を図る20代・30代たち。イエ充な彼らにとって、テレビはなくてはならない存在です。ということは、テレビ環境の違いがライフスタイルにも影響を及ぼすのでは？ そんな仮説に基づき、充実したテレビ環境を持つ有料放送視聴者(有料放送アリ)と未加入者(有料放送ナシ)との比較で、その違いを見てみます。

自分の家の中が充実していると思うかどうかを聞くと、有料放送ナシの未加入者58.5%に対し、有料放送アリの視聴者は65.7%と充実度が高く、また視聴時間が長くなるほど(30分61.9%→1時間68.4%)充実度が高まる傾向があります[グラフ17]。

また、今年のG.W.を主に自宅で過ごす自宅派は、有料放送ナシの未加入者が54.7%に対し、有料放送アリの視聴者は60.6%となり、こちらも視聴時間が長くなるほど(30分56.6%→1時間60.5%)自宅派の割合が高くなります[グラフ18]。

さらに、G.W.に家にいるときにすることを見ると、どちらも「テレビ・DVDを見る」(有料放送ナシ68.5% 有料放送アリ74.4%)がトップですが、有料放送ナシの未加入者より有料放送アリの視聴者の方が総じてポイントが高くなっています。これは、有料放送アリの視聴者の方が、家の中での楽しみがいろいろあるイエナカ充実度が高いことを示しており、有料放送視聴者は、より“イエ充”なライフスタイルをおくっていると考えられます[グラフ19]。

グラフ17)家の中が充実していると思うかどうか

	充実度 (A+B)				充実度 (A+B)
	そう思う(A)	ややそう思う(B)	あまりそう思わない	そう思わない	
全体 (n=500)	19.2	41.6	33.4	5.8	60.8
有料放送ナシ (n=340)	17.9	40.6	35.3	6.2	58.5
有料放送アリ (n=160)	21.9	43.8	29.4	5.0	65.7
30分以上視聴者 (n=113)	21.2	40.7	32.7	5.3	61.9
1時間以上視聴者 (n=76)	28.9	39.5	26.3	5.3	68.4

グラフ18)今年のG.W.を過ごす場所

	自宅派	外出派
全体	56.6	43.4
有料放送ナシ	54.7	45.3
有料放送アリ	60.6	39.4
30分以上視聴者	56.6	43.4
1時間以上視聴者	60.5	39.5

グラフ19)G.W. 家にいるときのこと

